



発行 ● 狛江市政策室
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743



② 狛江高等学校
元和泉3-9-1

全日制普通科の都立高等学校。昭和40年代に「狛江に高校を」との声が高まり、47年に開校した。正門付近のイチヨウ並木は、建設予定地にあった池の周りに植えられていたもの。「地球的な視野を持つ、文武両道の逞しい人材の育成」を目標に、国際理解教育に力を入れている。17の運動部と13の文化部があり、全国大会で優勝したダンス部や箏曲部をはじめ文化部、運動部ともに活躍している。

③ 十幹森稲荷神社
東和泉2-16

住民が家内繁栄、五穀豊穡を願って京都の伏見稲荷神社から分霊し文化年間(1804～1818年)に勧請したといわれる。明治時代に一時別の場所へ移転したが、昭和10年に現在の場所に再建され、地元の人々が講を作り初午などの行事を続けている。



④ 狛江駅南口広場
狛江の南の玄関口として昭和39年から6年がかりで清水川の暗さよ排水工事、道路の建設、広場の建設が行われ、45年に完成した。中央の広場にはツバキや芝が植えられ、時計塔や標語

などの看板が立つ。完成当時は周辺に大きな建物がなかったが、現在では銀行や飲食店などのビルが建ち、多くの人が行き交う。



⑤ 揚辻稲荷神社
東和泉1-26

住宅街の一面にあり、「谷田部稲荷」とも呼ばれ、赤い鳥居と社殿がある。社殿裏に小さな池があり、約60年前まで水が豊富にわき、池から岩戸方面へ農業用水が流れていた。



⑥ 清水川公園
東和泉2-9

弁財天池が水源の用水だった清水川の跡地に平成25年に防災機能を有する公園として整備された。広場にベンチや東屋などがあり、憩いの場になっている。防災倉庫をはじめ防災用井戸、災害対策用トイレ、かまどスツールなどを備えている。



⑦ 岩戸地域センター
岩戸南2-2-5
地域の文化活動や住民の

交流の拠点として昭和53年に開館。施設の老朽化に伴って建て替えられ平成27年にリニューアルオープンした。鉄筋コンクリート造り地上3階地下1階建てで、会議室や音楽室、創作室、料理実習室、図書室などのほか、岩戸町会専用のスペースがある。



⑧ 石橋供養塔
岩戸南1-4

市内3カ所にある石橋供養塔のひとつ。一の橋交差点の脇にあり、文政6(1823)年に立てられた。高さ93cmの石柱の表面には弘法大師の像と道しるべの役割を果たす「東六郷・江戸道」などの文字が彫られている。世田谷通り南側の歩道部分は昭和47年頃まで六郷用水が流れていたが、道路の拡幅で地下水路となり、橋も姿を消した。

⑨ 土屋塚古墳
岩戸南1-4

直径約35m、高さ4.5mの円墳で、東側に小規模な

造出部がある。周溝から大量に出土した円筒埴輪の破片から5世紀中頃に造られたと推定される。市内の古墳群の中では最も古い時代のもので、首長級の豪族の墓だった可能性が高いと考えられる。昭和61年に市の文化財に指定された。



⑩ 楽永山慶岸寺
岩戸北4-15-8

浄土宗に属する寺院で本尊は阿弥陀如来。慶長17(1612)年の開山といわれ、現在の本堂は昭和53年に建てられた。明治11年から約1年半、狛江第一小学校の前身の「江東学校」が置かれた。墓地の入口には寛文2(1662)年の銘がある地蔵菩薩立像と聖観音立像を浮き彫りした2基の石造供養塔があり、ことし9月に市の文化財に指定された。また、近くにある塩地蔵はイボ取りや歯痛、頭痛、子育てや安産を祈願する人が訪れ、名前の通り、参拝者は地蔵に塩を塗り付けたりして祈願を行っていた。



世田谷通り

世田谷町田線(3号線)は、世田谷区三軒茶屋から神奈川県川崎市を経て町田市まで約27.6kmを結ぶ幹線道路。都内では世田谷通り、川崎市では津久井道と呼ばれる。狛江市内は岩戸北4-20-1の世田谷区境から多摩水道橋の都県境まで延長約2.5kmで、市の中央部を東西に貫いており、狛江の大動脈として終日多くの車が行き交う。幅約16mから42mの4車線の道路は両側に歩道が整備されている。

新一の橋交差点から世田谷区へ向かう区間の道路に沿って、かつて六郷用水が流れていたが、昭和40年頃から順次埋め立てられ、現在は地下水路となっている。



街路樹は市内のほぼ全線に渡ってイチヨウが植えられており、秋には黄葉が街を彩る。また、一の橋交差点付近の緑地帯を中心にオオムラサキツツジやサツキツツジが植えられている。

狛江駅南口通り

狛江駅南口ロータリーから狛江駅南入口交差点まで約260m。

二の橋通り

二の橋通り商店会の世田



① 多摩水道橋

多摩川に架けられた長さ358mの橋で、幹線道路の世田谷町田線(3号線)が通り、下には川崎から東京へ水道水を供給する導水管が通っている。かつては現在の橋の下流に登戸の渡しがあったが、川崎から東京への水道水の供給と

谷区境(岩戸北4-16付近)から二ノ橋交差点を経て岩戸児童センター前の交差点まで約850m。

一の橋通り

ふれあい側道と松場通りとの交差点(岩戸北4-5付近)から二の橋通りとの交差点(岩戸北4-15付近)まで約400m。



② 多摩水道橋



③ 十幹森稲荷神社

道路との2つの役目を持たせた橋として計画され、昭和28年に完成した。橋の老朽化と慢性化した交通渋滞の解消をはかるため、2車線だった初代の橋を4車線化することになり、平成13年に現在の橋が完成した。橋の両側のたもとには出会い・ふれあいをコンセプトにそれぞれ約90㎡の橋詰広場が設けられた。

松場通り

ふれあい側道との交差点(岩戸北4-5付近)から二の橋通りとの交差点(岩戸北4-15付近)まで約400m。

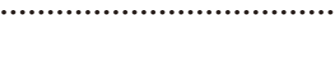


④ 狛江駅南口広場



⑤ 揚辻稲荷神社

住宅街の一面にあり、「谷田部稲荷」とも呼ばれ、赤い鳥居と社殿がある。社殿裏に小さな池があり、約60年前まで水が豊富にわき、池から岩戸方面へ農業用水が流れていた。



⑥ 清水川公園

弁財天池が水源の用水だった清水川の跡地に平成25年に防災機能を有する公園として整備された。広場にベンチや東屋などがあり、憩いの場になっている。

⑦ 岩戸地域センター

地域の文化活動や住民の交流の拠点として昭和53年に開館。施設の老朽化に伴って建て替えられ平成27年にリニューアルオープンした。

⑧ 石橋供養塔

市内3カ所にある石橋供養塔のひとつ。一の橋交差点の脇にあり、文政6(1823)年に立てられた。

⑨ 土屋塚古墳

直径約35m、高さ4.5mの円墳で、東側に小規模な造出部がある。

⑩ 楽永山慶岸寺

浄土宗に属する寺院で本尊は阿弥陀如来。慶長17(1612)年の開山といわれ、現在の本堂は昭和53年に建てられた。